

2022 年度実施概要

学校名

阪南市立舞小学校

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

| 単元名 | 学年 | 教科 |
|--------------------|----|----|
| 1. 「海の生き物となかよし」 | 1 | 生活 |
| 2. 「海辺の自然を楽しもう」 | 2 | 生活 |
| 3. 「海藻ってなんだろう？」 | 3 | 総合 |
| 4. 「海の生き物にふれよう」 | 4 | 総合 |
| 5. 「ワカメを育てて収穫しよう」 | 5 | 総合 |
| 6. 「自分たちの考えを発信しよう」 | 6 | 総合 |

取り組みの概要

本校は、運動場に山の一部やアスレチックがあり、校舎から大阪湾を望むことができる自然豊かな場所にある。これを活かし、水の循環を通した山・川・海のつながりについての学習に取り組んでいる。

今年度も「フルボ酸」を用いて植物を育てる活動に取り組んだ。フルボ酸が陸で育つ植物のよりよい生育に影響するということを実感し、さらに理科の学習と関連させることで、山や陸地の自然の豊かさが豊かな海につながるということを学ぶことができた。加えて、使用した実感を基にフルボ酸について校内や他校へ紹介する動画の作成も行い、取り組みの発信も行った。

また、今年度は学習計画の見直しに取り組み、山・川・海のつながりをさらに意識し、「山（陸地）で自分たちが取り組めること」を考えることのできる学習活動にした。6年生ではその集大成として、考えたことを発信する学習に取り組む、というカリキュラムとした。

1. 「海の生き物となかよし」 1年 生活

「ちりめんモンスター」に取り組み、ちりめんの中にも様々な種類の生き物がいることに気づき、海の生物多様性について知る導入として取り組んだ。

2. 「海辺の自然を楽しもう」 2年 生活

実際に海へ行き、「ビーチコーミング」に取り組んだ。採集した貝殻などの漂着物を用いて、フォトフレーム作りを行い、海岸にも海の恵みがあることに気づくことができた。また、活動の際に漂着していた海洋ごみの存在にも気づかせ、問題意識をもつ雰囲気醸成した。今年度は海藻万華鏡づくりにも取り組み、海辺以外の恵みにも注目させてみた。

3. 「海藻ってなんだろう？」 3年 総合的な学習の時間

海藻について学び、「海藻万華鏡づくり」に取り組んだ。海藻とは何かというところから、海藻の利用

などについても学び、その一つとして海藻万華鏡を作った。海の恵みには「食べる」以外にも利用することが可能であると気づくことができた。一方で、食べる海の恵みを意識する活動として、「のりすき体験」に取り組んだ。普段よく食べる海苔がどのようにして作られているのか学んだ。また、活動前に給食で海苔の佃煮の提供があり、自分たちが作った海苔との比較も行い、海苔一つにも様々な利用法があることに気づくことができた。また、海苔の養殖が府下では阪南市でしか行われていないことも知り、地域の産業に誇りをもつと同時に守っていききたいものであるという思いをもつことができた。

4. 「海の生き物にふれよう」 4年 総合的な学習の時間

海へ行き、生き物採集を行った。アマモ場が多く生き物を育てていることを知り、大阪湾の生物多様性を実感することができた。また、生き物を連れて帰り、学校の水槽で飼育することで、全校児童の生き物への関心を高めることができた。

5. 「ワカメを育てて収穫しよう」 5年 総合的な学習の時間

海へ行き、ワカメの種糸つけと、収穫を行った。海藻おしばやのりすき体験をした経験を想起しながら、小さなワカメの種糸が、海の栄養を吸収して大きく育つことが実感できた。また、実際にワカメをさわったことで、感触を確かめることができ、あわせて小さな生物がワカメにもいることに気づくことができた。収穫後にはワカメの調理法について調べる学習や、家庭で実際に調理した様子をクラスで共有するなど、授業外での取り組みにもつなげることができた。

6. 「自分たちの考えを発信しよう」 6年 総合的な学習の時間

これまでの学習を統合する活動として「フルボ酸」について学び、作成した。また、山・川・海のつながりについても学び、それらのつながりと自分たちの住む陸地との結びつきの深さについて気づくことができた。学んだこと・考えたことを発信するために動画を作成し、市内の他校や下級生に学びを広めることができた。



3年 海藻万華鏡づくり



4年 生き物観察



5年 ワカメ収穫活動



6年 フルボ酸作り